



30th
Anniversary

宮崎県埋蔵文化財センターは
30周年を迎えました

HIMUKA ひむか

MIYAZAKI

PREFECTURE

ARCHAEOLOGICAL

CENTER

NEWS LETTER 2025-26



28

令和7年度
宮崎県埋蔵文化財センター通信
ひむか 第28号

宮崎県埋蔵文化財センターは、県内各地において遺跡の発掘調査や、西南戦争関連遺跡などの重要な遺跡の保護を目的とした分布調査を行っています。また、これまでの発掘調査で出土した土器や石器などの遺物、遺構の写真や図面といった記録は、学術研究のほか、展示会や出前講座などで活用し、県内の様々な場所において郷土の歴史を学ぶ機会を提供しています。

写真 左上：出前講座

右上：西南戦争関連調査（諸塚村）

左下：発掘調査の様子（土器田東横穴群） 右下：触れて学ぶ体験講座



令和7年度
発掘調査

半世紀ぶりの横穴墓調査

土器田東横穴群(宮崎市佐土原町下那珂)

調査期間: 令和7年10月21日～令和8年2月20日



土器田東横穴群

遺跡遠景



作業の様子



現地説明会

土器田東横穴群は、宮崎市佐土原町下那珂に所在する光陽台団地の南東斜面(標高18m)に立地しています。今回は、古墳時代の横穴墓2基の発掘調査を行いました。横穴墓は遺体を納めた玄室・羨道・前庭部から構成されていますが、調査の結果、玄室や羨道部分などから古墳時代の須恵器や耳環(耳飾り)、さらに中世の土師器や陶器が出土しました。

2基の横穴墓は、古墳時代の終わり頃に造られたものですが、玄室の一部や羨道などが壊されていること、また古墳時代と中世の遺物が同一面から出土したことから、中世に改変され、住居など別の用途に再利用されていた可能性が考えられています。



令和7年度
資料整理

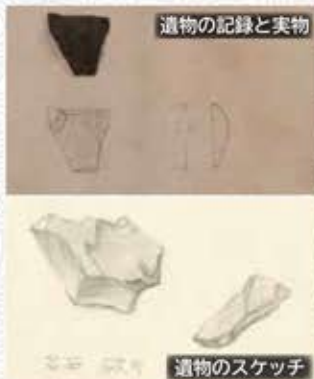
県内より出土した貴重な資料の目覚め

資料の整理と活用(国立大学等より譲渡された資料)

期間: 令和7年度～令和9年度(3年間)



昭和時代の調査記録



遺物の記録と実物

遺物のスケッチ



尾立遺跡(綾可)



狐塚遺跡(串間市)

大学から譲渡された貴重な資料(昭和時代の調査記録や県内出土の遺物等)を県民に広く公開・活用するために、令和7年度は、宮崎大学から譲渡された資料の整理作業を行いました。現在、紙の資料のデジタル化や出土遺物の水洗、注記、写真撮影等の作業を進めています。

昭和時代の学生による調査記録や県内から出土した遺物等は、当時の発掘調査の様子を伝える貴重な資料であり、今後、当センターの展示会やハンズオンキット(触れて学べる教材)、地域別遺物解説セット等に活用していきます。



下弓田遺跡(串間市)

施設見学/職場体験/インターンシップほか

埋文センターで『ホンモノ』を体験しよう

当センターでは、施設見学や職場体験、インターンシップなどを実施しています。センター分館では、展示解説やバックヤードツアー、地域の歴史講座のほか、土器や石器の実物に触れる体験や、石器レプリカづくりなど様々な体験活動も行っていきます。



バックヤードツアー



職場体験



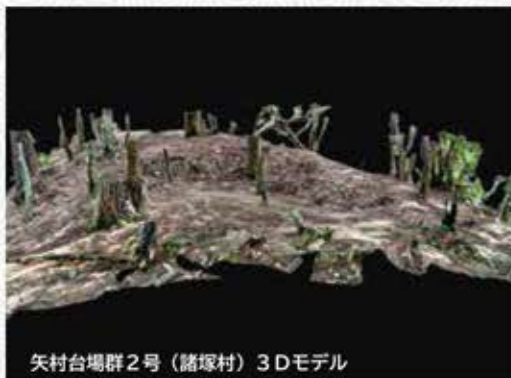
近代宮崎の出発点

西南戦争関連遺跡調査・活用事業

調査期間: 令和5年度～令和7年度(3か年)



和田越台場群(延岡市)での測量作業



矢村台場群2号(諸塚村)3Dモデル



陣之尾台場群14号(宮崎市)の確認調査

令和7年度は、延岡市、諸塚村、高原町において44基の台場、宮崎市において墓1基を確認しました(令和8年1月末現在)。延岡市の和田越台場群では測量調査を進める中で、銃の発砲に用いられた雷管や銃弾、刀剣の一部を発見しました。これにより、薩軍と政府軍による激しい戦いがあったことを裏付ける成果を得ました。また、宮崎市高岡町では、当時の記録から薩軍が構築したと推定される陣之尾台場群について確認調査を行い、台場の形状や構築方法に関する貴重なデータを得ることができました。

本事業は令和7年度で終了しますが、今後も西南戦争関連遺跡の保存や継承について地域の皆さんや関係諸機関と協力しながら取り組んでいきます。



解き明かされたふるさとの歴史

触れて学ぶ ふるさとの遺跡再発見 [諸塚会場]

期間: 令和7年度～令和9年度(3か年)



展示会場



展示解説(ふるさとの遺跡学習会)



資料調査(諸塚村に遺る石棺)

令和7年度は、諸塚村中央公民館において移動展示会を開催し、村内から出土した遺物を中心に220点を展示しました。また、村内遺跡の資料調査を実施し、その成果をもとにリーフレットや遺跡解説動画を作成しました。これらをあわせて紹介するとともに、3Dプリンターを活用した実物大レプリカや模造品も展示し、触れて学べる体験型展示も行いました。

その結果、「触れて学ぶ ふるさとの遺跡再発見」展示会として来場者から好評を得ました。



縄文土器

土偶

3Dプリンターで作製したレプリカ

出前講座/出前展示はか

『ホンモノ』の感動をお届けします

宮崎県内から出土した実物資料や遺跡中継、デジタル資料などを組み合わせた出前講座・体験講座など、ご要望に合わせた授業・研修を実施しています。また教職員研修や家庭教育学級、PTA催事、地域の文化祭、生涯学習会などにもお伺いします。



出前講座でのリモート学習

【R7 出前講座の実績】

- 小学校24、中学校10、保育園1
- 教育委員会1、放課後児童クラブ4
- 一般団体9

※分館施設での講座・体験活動を含みます

計49回

「ホンモノ」の感動を埋文センターで

宮崎県埋蔵文化財センターでは、年間を通して、様々なイベントを行っています。
「ホンモノ」の感動を体験してみませんか。

埋文講座

- 6月21日(日) 『県内最古クラスの生活址』東畦原第1遺跡(新富町)
- 8月23日(日) 『触れる講座 ～弥生時代～』ワークショップ
- 12月20日(日) 『西南戦争と宮崎 ～激戦地の記憶を辿る～』
- 1月17日(日) 『カタチを録る～調査員の遺跡計測略史～』
- 3月14日(日) 『半世紀ぶりの横穴墓調査～佐土原町の古墳時代横穴墓～』土器田東横穴群(宮崎市)



近年、発掘調査を行った遺跡や、調査研究の成果、解き明かされてきた宮崎の歴史についての講座を行います。



移動展示会

触れて学ぶ ふるさとの遺跡再発見 in日向市東郷

日時 9月26日(土)～10月22日(木)
場所 日向市東郷町 東郷公民館(さくら館)
関連講座 10月10日(土)

ホンモノの土器や石器に触れる体験を中心に、これまで行ってきた遺跡の調査・研究の成果を還元します。ぜひお越しください。

遺跡発掘成果展

東九州自動車道118遺跡 川南編

日時 2月17日(水)～3月7日(日)まで
場所 宮崎県立図書館 特別展示室(2階)
【特別講座】 2月28日(日) 13:30～15:00

東九州自動車道建設に伴い行った発掘調査を振り返り、遺物の展示や遺跡の紹介を行います。展示期間中に特別講座を開催します。



博物館こどもDAYコラボ

埋文センターで“ホンモノ”体験

日時 11月1日(日)
場所 宮崎県埋蔵文化財センター分館(県総合博物館北東側に隣接)

土器や石器の実物に触れたり、石庖丁アクセサリーづくりやミニ発掘体験、バックヤードツアーに参加し、「ホンモノ」の感動を体験しませんか。

編集・発行 宮崎県埋蔵文化財センター

【本館】〒880-0212 宮崎市佐土原町下那珂4019 (本館には展示施設はありません)
TEL 0985-36-1171 (総務課)、0985-36-1172 (調査課)

【分館】〒880-0053 宮崎市神宮2丁目4-4 (県総合博物館北東側)
TEL 0985-21-1600 (普及資料課)

発行日 2026年3月27日

埋文センターHP

